

## 第3回政策調整会議結果報告

1 日 時 平成19年6月22日(火)午後1時00分～午後4時10分

2 場 所 役場2階 審議室

3 出席者

《構成員》田浦副町長、北川総務課長、尾崎町民生活課長、岡崎保健福祉課長、早川建設水道課長、前田教育振興課長

《説明員》少子化対策プロジェクト庶務 吉岡子育て支援班主幹  
移住定住促進プロジェクト庶務 佐藤企画財政班主査  
保健福祉課 大石福祉対策班主幹

《庶務》総務課企画財政班 石田主幹、深山主査

4 内 容

《審議事項1》 頑張る地方応援プログラムの応募プログラムについて

(1) 応募プログラムの修正案について

[プロジェクト庶務(吉岡主幹)から資料1により説明]

- ・ 成果目標を「2.02」から「1.85以上」に修正した。
- ・ 具体の事業について、教育委員会所管の3事業(幼稚園特別活動事業、子ども会育成協議会補助、スポーツ少年団活動補助)を追加した。
- ・ 「在宅育児支援」と「つどいの広場事業」が合併し、「地域子育て支援拠点事業」となったことから事業名を修正した。

[協議内容(全体協議)]

- ・ 少子化の原因としては、経済的要因が大きいということもあるが、本町は半数近くが公務員ということもあり、経済的には安定している世帯の割合が高い。
- ・ 町施策としては、直接交付するような補助施策でなく、子育てを支援する事業や子ども達の安全な居場所づくり事業などを実施することで、少子化対策を行っている。
- ・ 全体的に施策アピールが弱いので、まちの施策を前面に出すようなプログラムに修正が必要である。

[総括]

現状課題を解決するために実施する「具体の事業・施策」の成果目標をそれぞれ設定し、組織として成果を計測できるようにすること。(合計特殊出生率以外の具体目標の設定が必要)

具体事業が平成 19 年度のみなので、平成 19 年度から平成 21 年度の全体事業・全体事業費として修正すること。

2 回の政策調整会議で修正事項を指示したので、今後、本会議では継続審議はしない。よって、「少子化対策かみふらのプロジェクト」は、上記の事務的な整理を行い提出すること。

2 次募集提出期限は、まだ通知されていないが、7 月下旬を提出を目途として整理すること。